

## あま市巡回バスの利用状況について

### 1 利用者数の推移

あま市巡回バスが新ルートによる運行を開始した、令和5年5月6日から令和7年2月末までの利用者数の推移を、「資料①別紙」においてグラフにより示しています。

【図1】は全ルートを合計した利用者数の推移を示しており、【図2】はルート別の利用者数の推移を示しています。

また、本格運行を開始した令和3年度以降の利用者数は、令和3年度5,968人、令和4年度7,087人、令和5年度8,113人、令和6年度8,512人（2月末時点）となっており、毎年増加傾向にあります。

### 2 推移からみる傾向

- 利用者数は各月の運行日数に左右されることから上下を繰り返しているものの、全体的に増加傾向にあります。
- 利用頻度について南部ルートが最も高く、次いで東部ルート、最も低いのは北部ルートとなっています。
- 各ルートにおいて5月と10月の利用者数が、他の月に比べ増加傾向にあります。

### 3 傾向の分析

- 年月を重ね、新ルートでの運行が住民に浸透してきています。
- 南部ルートは、蟹江駅をルートに含むことから利用者数が多いと思われます。
- 東部ルートは、市民病院、甚目寺駅をルートに含むことから利用者数が多いと思われます。
- 北部ルートは、木田駅をルートに含みますが、木田地区や正則地区においては狭小な道路が多く、住宅地内にバス停が設置されていないことから、他ルートに比べ利用者数が少ないと思われます。
- 天候が比較的安定している時期（5月と10月）に利用者が増えると思われます。

#### 4 今後の課題

- ◎ 北部ルートの利用者数の増加を図るため、使用車両やルートの見直しによる対策を行う必要があります。
- ◎ 利用者や沿線住民の巡回バスに対するニーズや考えを調査し、現行の巡回バス方式について継続するか、別方式への置き換えも検討を実施する必要があります。